

平成30年度村政懇談会追跡調査表

地区名	番号	質問内容	回答者		担当課	分類 ①対応済み ②継続検討等 (継続的に対応が必要であるもの)	対応状況		
							平成30年9月末現在	平成30年12月末見込み	平成31年3月末現在
白方	1	〇〇について	〇〇部長	〇〇部	〇〇課	①対応済み	・〇〇した(〇月実施)	同左	同左
白方	67	豪雨時など水害の対策について	村長	村民生活部	防災原子力安全課	①対応済み	洪水や津波から一時避難するための対策として、避難タワーの建設等具体策は検討していない。なお、高台への避難に時間を要する人の対応としては、大雨による道路の冠水対策として、円滑な避難行動のために、都市整備課において避難経路となる竹瓦区内の道路の整備を行う計画である。		
白方	68	百塚区の浸水の危険性に関する検証について	村長	村民生活部	防災原子力安全課	①対応済み	下水道課において、村全体の雨水管理について検討を進めており、東部排水路についても今年度排水能力等詳細調査を行い、調査結果をもとに整備を検討していく旨、村長より回答済み。		
白方	69	東海村観光協会の案内所をステーションギャラリーに移すことについて	村長	産業部	産業政策課	②継続検討等	観光協会の課題として協議を進めていくが、財源も含め、独自に人員雇用ができる体制も不十分であるため、観光協会の体制強化と合わせて検討する。	同左	同左
白方	70	村主催の敬老会廃止に伴う地区への予算補助について	村長	福祉部	高齢福祉課	①対応済み	当日会場で「地区の敬老会については地区社協や自治会の交付金や補助金で運営していたがいてる。」と説明させていただいた。また、各地域が開催する敬老会等については、従来どおり村と村社会福祉協議会から地区社会福祉協会に対して助成金を交付していく旨各自自治会長へ通知済である。		
白方	71	除去土壌・除染廃棄物の埋設処分について(草木類を移動して保管することについて)	村長	村民生活部	防災原子力安全課	①対応済み	草木類の移設・保管は、環境省による「除去土壌の埋立処分に関する実証事業」に併せて村から日本原子力研究開発機構へ依頼したものである。草木類は焼却・減容が基本とされているが、可燃物はひたなか・東海グリーンセンターで処理されることになるため、東海村及びひたなか市の共通課題であるが、まずは移設することを優先して進める。		
白方	72	高齢者専用のスポーツ広場について(絆周辺に広場がほしい)	村長	教育委員会	国体・スポーツ推進課	②継続検討等	スポーツ広場の新設は、すぐに対応できるものではないが、民間事業所が所有する運動施設等を村民が利用できる仕組みを検討したい。	同左	同左
白方	73	今年度実施された広域避難計画の問題点、今後の予定について	村長	村民生活部	防災原子力安全課	①対応済み	平成30年度に実施した広域避難訓練において、主に以下の課題を認識しているほか、第三者評価として原子力緊急時支援・研修センターに訓練評価を依頼している。今後その検証を行い、広域避難計画(案)に反映していく。 ・理解しやすい住民広報 ・バリエーションな一時集合場所における受付の効率化 ・取手市に設置する代替災害対策本部と村役場の間における通信連絡体制の強化 ・避難所における暑さ・寒さ対策		
真崎 (全体会)	74	東海村の人たちが幸せに働ける施策の土台作りについて	村長	産業部	産業政策課	②継続検討等	産業振興と新産業創生による雇用創出を図ることを目的に、村内中小企業を対象として、村内の研究機関や教育機関の先端科学技術研究の現状などを学ぶセミナーを開催している。	産業振興と新産業創生による雇用創出を図ることを目的に、村内中小企業を対象として、村内の研究機関や教育機関の先端科学技術研究の現状などを学ぶセミナーを開催した。(全3回) 次年度以降も継続して開催予定。	

地区名	番号	質問内容	回答者	担当課	分類 ①対応済み ②継続検討等 (継続的に対応が必要であるもの)	対応状況			
						平成30年9月末現在	平成30年12月末見込み	平成31年3月末現在	
真崎 (第1分科会)	75	部活動の時間を縮小することについて（骨抜きにならないよう取り組んでほしい）	-	教育委員会	指導室	①対応済み	村の方針を定め10月から運用を開始した。さらに各中学校でも指針を定め全保護者に通知した。（平日2時間、休日3時間、朝練なし）		
真崎 (第1分科会)	76	部活動の指導者を外部から呼ぶことについて	-	教育委員会	指導室	②継続検討等	運動部活動指導員配置に向けた予算要望中。	来年度予算に要望を行い、部活動指導員配置に向け要綱を作成中。	4月に要綱を制定し、東海中学校の女子バスケットボール部に部活動指導員1名を配置予定。
真崎 (第1分科会)	77	学校のクーラー設置について	-	教育委員会	学校教育課	①対応済み	平成30年4月に学校環境衛生基準（文部科学省）が見直されたこともあり、来年度にむけて、村内の小中学校における普通教室等への空調機器の設置を決定した。		
真崎 (第1分科会)	78	通学路や学校回りの塀の安全性について	-	教育委員会	学校教育課	①対応済み	学校施設内は、既にブロック塀の有無を確認し、対応が必要な箇所については改修を予定している。通学路については、関係各課と協力し、所有者へ撤去を要請するブロック塀については、注意喚起を行っている。通学路の危険箇所については、通学路を回避するなど柔軟に対応している。		
真崎 (第1分科会)	79	病児・病後児保育について	-	福祉部	子育て支援課	①対応済み	病児・病後児保育施設は、保護者の多様な保育ニーズに対応するため、病児の子どもを預かる施設であり、その事業概要については次のとおりである。 ◆定員：4名 ◆対象児童：概ね生後6ヶ月から小学6年生まで ◆利用時間：午前8時から午後6時まで ◆利用料金：2000円/日（東海村民の場合） *その他申し込み方法等については、広報誌等でお知らせしていく。		
真崎 (第1分科会)	80	食育について（食育を小学校で行うべき）	-	教育委員会	学校教育課	①対応済み	エンジョイサマースクール等を通して小中学校の学習に取り組んでいる。		
真崎 (第1分科会)	81	保護者と村、教育委員会とのパイプについて	-	教育委員会	指導室	②継続検討等	保護者と教育委員会が直接懇談する機会を計画中。	12月7日及び26日の二日間、直接懇談を実施済み。	
真崎 (第1分科会)	82	学校から家庭への働きかけについて	-	教育委員会	指導室	①対応済み	実施済（懇談会、学校だよりにより）。		
真崎 (第1分科会)	83	コミュニティスクールについて（学校運営協議会以外の方をどう取り込んでいくか）	-	教育委員会	指導室	①対応済み	実施中（できることから人の輪を広げている、例 朝のあいさつ運動）。		
真崎 (第1分科会)	84	子ども会がなくなってきていることについて	-	教育委員会	生涯学習課	②継続検討等	親や地域の方たちにより子ども会活動を継続していただきたたい。村子運とともに単位子ども会をサポートしていく。	親や地域の方たちにより子ども会活動を継続していただきたたい。村子運とともに単位子ども会をサポートしていく。	同左
真崎 (第2分科会)	85	災害時協力井戸について（飲料水には使えないという表示をステッカーにしてほしい）	-	村民生活部	防災原子力安全課	①対応済み	災害時協力井戸は、安全性の観点から、風呂やトイレ、洗濯などのための生活用水として使用するものとしているところであり、現在の村で作成しているステッカーには、「生活用水に使用してください」を記載している。		

地区名	番号	質問内容	回答者	担当課	分類 ①対応済み ②継続検討等 (継続的に対応が必要であるもの)	対応状況			
						平成30年9月末現在	平成30年12月末見込み	平成31年3月末現在	
真崎 (第2分科会)	86	災害協力井戸の実態調査について	-	村民生活部	防災原子力安全課	②継続検討等	井戸の実態調査は、平成27年度に実施し、平成28年度に結果を反映したリスト及びマップをコミュニティセンターや自治会長へ送付した。次回は平成31年度までに調査する予定。	同左	井戸の実態調査は、平成27年度に実施し、平成28年度に結果を反映したリスト及びマップをコミュニティセンターや自治会長へ送付した。次回は平成31年度に調査予定。
真崎 (第2分科会)	87	学校へのクーラー設置について	-	教育委員会	学校教育課	①対応済み	平成30年4月に学校環境衛生基準(文部科学省)が見直されたこともあり、来年度にむけて、村内の小中学校における普通教室等への空調機器の設置を決定した。		
真崎 (第2分科会)	88	スマートICについて(入りやすく出やすいものにしてほしい)	-	建設部	都市整備課	②継続検討等	下りのスムーズな通行には那珂市の協議が必要となる。安全な通行のため、引き続き那珂市と協議していく。	那珂市との協議を継続していく。	同左
真崎 (第2分科会)	89	真崎古墳群の除去土壌移設後の跡地利用について	-	教育委員会	生涯学習課	①対応済み	除去土壌は古墳群の中にあるため、古墳群という史跡保全や文化財保護法の取扱いにより古墳群の中に構築物の設置は難しい。		
真崎 (第2分科会)	90	未来ビジョンの進捗状況について	-	村民生活部	地域づくり推進課	②継続検討等	平成30年度当初から、亀下区と緑ヶ丘区をモデル地区として取組を進めており、9月末時点で緑ヶ丘区で2回、亀下区で4回地域の方々話し合いの場を設けさせていただいた。緑ヶ丘区では、高齢化が進み、地域の担い手をどのように探すか、亀下区では若い世代の方々をどう取り込んでいくかなどが課題となっている。引き続き地域の方々とは今後について話し合っていく。	平成30年度当初から、亀下区と緑ヶ丘区をモデル地区として取組を進めており、12月末時点で緑ヶ丘区で3回、亀下区で5回地域の方々話し合いの場を設けさせていただいた。緑ヶ丘区では、高齢化が進み、地域の担い手をどのように探すか、亀下区では若い世代の方々をどう取り込んでいくかなどが課題となっている。引き続き地域の方々とは今後について話し合っていく。	4月以降も引き続き、亀下区、緑ヶ丘区をモデル地区として「未来ビジョン」の取組を進めていく。また、これらの活動を強気に推進するにあたり、平成31年度から新たに、国の「地域おこし協力隊」制度を活用し、非常勤職員として隊員1名を雇用する。これは、隊員がモデル地区での議論や実践に加わり、新たな視点からの手助けとなることで、これまでの固定観念に捉われない柔軟な発想で「地域未来ビジョン」を描くことをねらいとするものである。隊員には、地域力の維持・強化に関する取組みを通じ、将来的には、本村の魅力づくりや地域活性化において中心的な役割を担ってもらうことを想定している。
真崎 (第2分科会)	91	国道245号拡幅に伴う周辺活性化について	-	企画総務部	企画経営課	②継続検討等	国道245号拡幅等に伴う、村松地区の活性化については、現在、「東海村(仮称)村松地区周辺地域活性化計画策定検討委員会」にて、計画(案)を検討している。また、具体化できる事業は順次先行して進めていく。会議開催2回(6/6、8/6)。	国道245号拡幅等に伴う、村松地区の活性化については、現在、「東海村(仮称)村松地区周辺地域活性化計画策定検討委員会」にて、計画(案)を検討している。会議開催4回(6/6、8/6、10/10、12/19)。	国道245号拡幅等に伴う、村松地区の活性化については、現在、「東海村(仮称)村松地区周辺地域活性化計画策定検討委員会」にて、計画(案)を検討している。会議開催5回(6/6、8/6、10/10、12/19、3/25)。
真崎 (第2分科会)	92	根崎の集会所について	-	村民生活部	地域づくり推進課	②継続検討等	地域の方々気軽に集える場所というのは、自治集会所という形以外でも思われ、福祉施設等とも協議し、必要な措置について検討していく。	平成31年1月26日(土)に地域の方との話し合いを予定している。	地域、真崎自治会、行政の3者による検討会を立ち上げ、継続して話し合いを行っている。
真崎 (第2分科会)	93	村松小の通学路にある擁壁について	-	建設部	都市整備課	②継続検討等	通学路の安全確保、税金の使途の公平性等を総合的に勘案ながら対応策を模索していく。	対応策について引き続き模索していく。	同左
真崎 (第3分科会)	94	高齢者へのおむつの給付について(手法変更の際は住民から意見を聞いてほしい)	-	福祉部	高齢福祉課	②継続検討等	助成から給付へ手法を変更した理由の一つは、利用者から、「店舗で購入に行くのが大変なため配達にしてほしい」という意見が多かったためである。今後も引き続き利用者の利便性向上のためニーズの把握に努めていく。	現在の注文状況と新年度の商品選定に反映させるなど利用者のニーズに沿った実施に努めた。今後も引き続き利用者の利便性向上のためニーズの把握に努めていく。	本事業に対する課題を整理するとともに、近隣市町村の実施方法について情報収集や整理を行った。また、ケアマネや事業者に対し本事業に対する住民からの要望を把握した場合に村へ報告するよう依頼した。今後も引き続き利用者の利便性向上のためニーズの把握に努めていく。

地区名	番号	質問内容	回答者	担当課	分類 ①対応済み ②継続検討等 (継続的に対応が必要であるもの)	対応状況			
						平成30年9月末現在	平成30年12月末見込み	平成31年3月末現在	
真崎 (第3分科会)	95	介護認定に時間がかかることについて	-	福祉部	高齢福祉課	①対応済み	訪問調査による一次判定と主治医意見書を以て介護認定審査会に諮り認定の決定をする形である。調査の遅延や医療機関からの意見書の遅れも生じているが、なるべく皆様に不便をきたさないよう医療機関とも連携を図っていく。		
真崎 (第3分科会)	96	福祉タクシーについて	-	福祉部	高齢福祉課	①対応済み	高齢者の方々の病院等への移動手段については、バスやデマンドタクシーのほか、社会福祉協議会で福祉有償運送事業としての移送サービス「はーとろーど」を運行しており、要介護認定者等の通院等に有効に活用されている。また、村では、要介護認定者等に対し、通院時にタクシーを利用した場合の助成制度があるので、こちらも合わせてご利用いただきたい。		
真崎 (第3分科会)	97	高齢者への電気代の補助について	-	福祉部	高齢福祉課	①対応済み	冷房や扇風機の十分な活用については、電気代の心配だけでなく、エアコン風の好き嫌いなど個人によるところもある。電気代の助成は、全国的にみると電力会社による割引の形で実施されている地域もあり、村としてもそのような取り組みがされることが望ましいと考えているので、高齢者への電気代助成という考えは現在のところない。		
真崎 (第3分科会)	98	村主催の敬老会をやめたことについて	-	福祉部	高齢福祉課	①対応済み	村主催の敬老会を終了した理由は、会場の収容人員の問題や参加者数の減少などから総合的に判断したものである。		
真崎 (第3分科会)	99	コミセンを巡回するバスについて	-	企画総務部	企画経営課	②継続検討等	バスのルートの話は以前もあり、一度そのようなルートを作ったこともあったが、なかなか乗る人が増えず廃止となった経緯がある。この課題も含め、効果的な地域公共交通の在り方を引き続き検討していく。	引き続き、効果的な地域公共交通の在り方を検討していく。	同左
真崎 (第3分科会)	100	架空請求対策について（消費生活センターなどの電話番号をステッカーにできないか）	-	福祉部	福祉総務課	②継続検討等	ステッカー作成も含め、有効な対策を検討中。	ステッカー作成も含め、有効な対策を検討中。	消費者トラブル防止ステッカー作成。来年度消費生活センター、コミセンで配布予定。
真崎 (第3分科会)	101	出前講座の手続きについて	-	村民生活部	地域づくり推進課	①対応済み	まちづくり出前講座の窓口は地域づくり推進課となっている。申し込む方がどこが担当課か分からない場合などがあるため、取りまとの担当を決めている。不明な点は地域づくり推進課まで御相談いただきたい。		